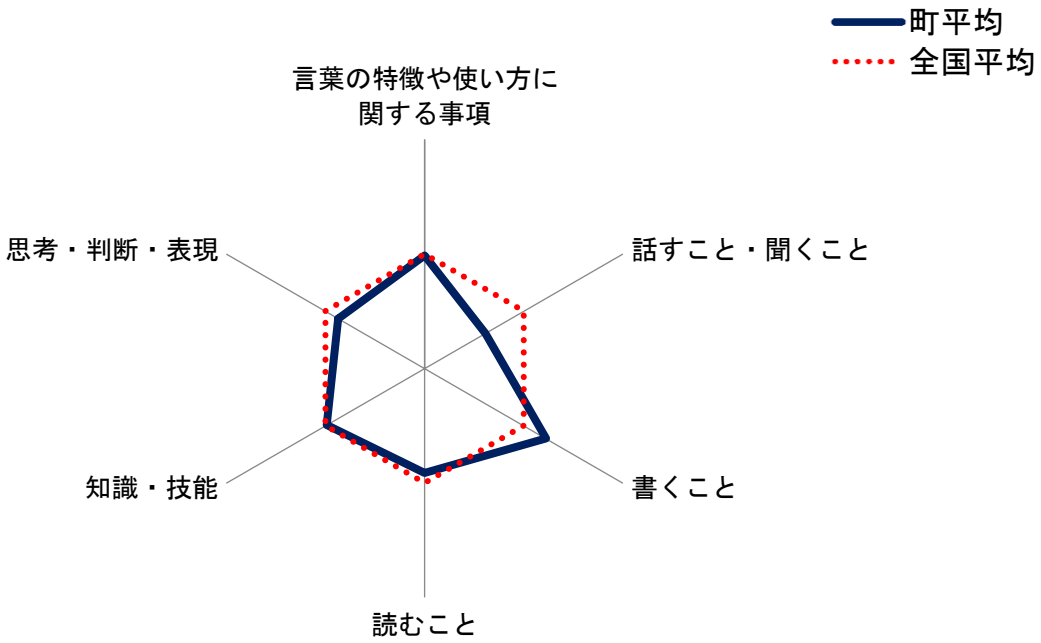
小学校

令和３年度　全国学力・学習状況調査
（各教科観点別等の状況）結果

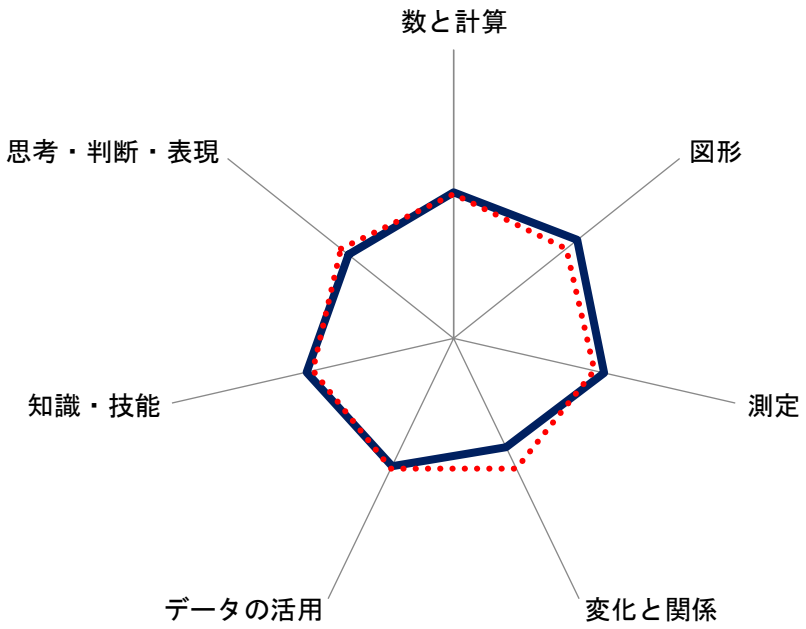
内子町

○　教科に関する調査（全国の平均正答率との差）

【国語】



【算数】

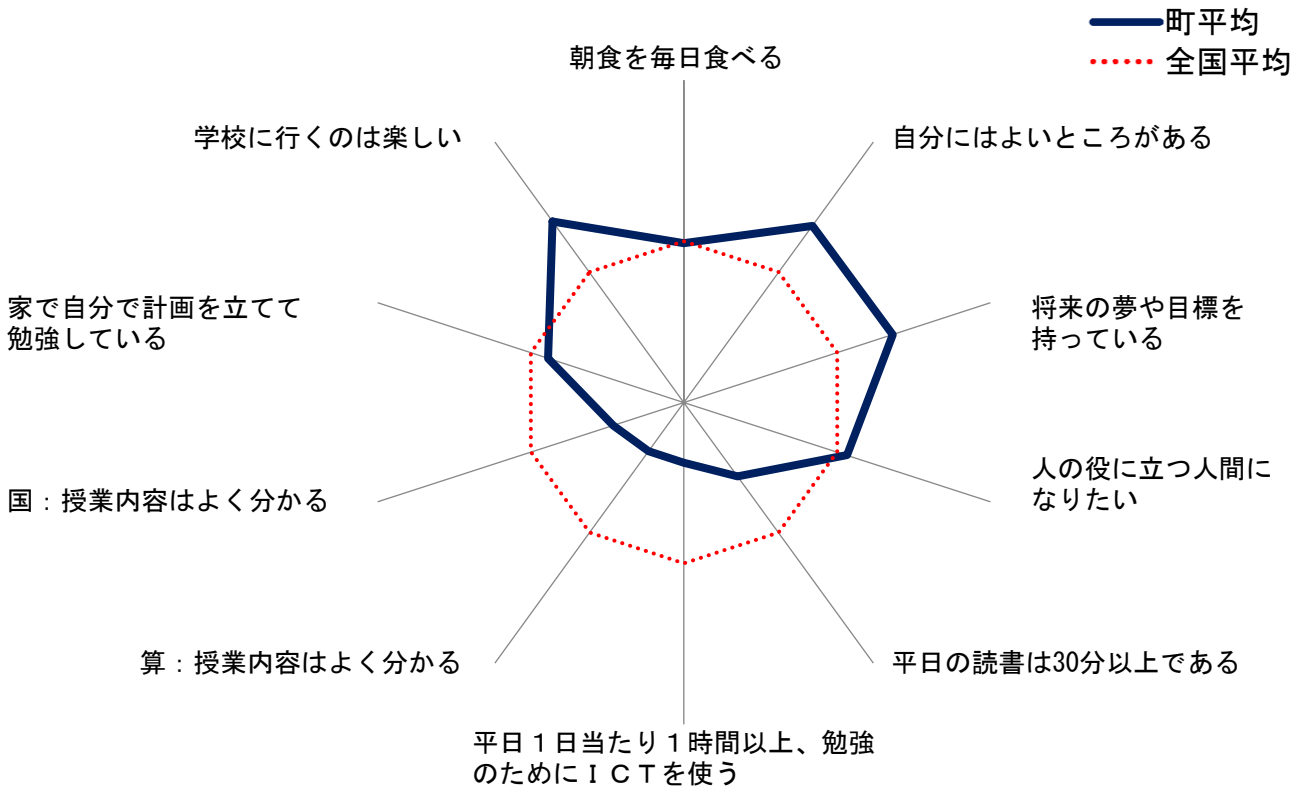


小学校

令和３年度　全国学力・学習状況調査
（学習や生活の状況）結果

内子町

○　児童質問紙調査（全国の平均回答率との差：肯定的な回答）



○　結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は「話すこと・聞くこと」の項目が全国平均を大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。算数は、「図形」「測定」の項目では全国平均を上回っているものの、「変化と関係」の項目は下回っている。今後、児童一人一人の結果を詳細に分析して課題を洗い出し、個に応じた指導をより一層推進することで、知識及び技能の確実な定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「学校に行くのは楽しい」「将来の夢や目標を持っている」の項目は全国平均を大きく上回っており、結果は良好である。一方、「平日１日当たり１時間以上、勉強のためにＩＣＴを使う」「国語、算数の授業内容はよく分かる」の項目は全国平均を大きく下回っている。今後、ＩＣＴを積極的に活用した学習指導を工夫するとともに、児童にとって「楽しい授業、分かる授業」となるよう、「第４期学力向上推進プラン」のもと、町全体での更なる授業改善が望まれる。